



つめがのびるのはどうして

「つめ」は何でできている

つめは、皮ふが固く変化したもので、角質というものでできています。

角質は少し固いのですが、指を使っているうちに、つめはだんだんすりへっていき、よく使う指ほど、つめのへり方がはげしいため、つめもどんだんのびます。

つめがいちばんはやくのびるのは、親指で、次が人指し指、中指、薬指、そして、小指の順になっています。

「つめ」がのびるのはどうして

つめの根元の部分を爪根といい、皮ふの中にかくれています。この部分で、つめはいつも少しずつつくられているため、だんだんおしあげられて、のびてくるのです。

つめは、約10日間で1円玉の厚さくらいのびますが、子どものほうが大人よりものびるのがはやく、冬よりも夏のほうがはやくのびます。

つめの根元には、三日月形をした白い部分がありますが、これは、新しくつくられたばかりのつめで、まだ、完全に固くなっていない部分です。（監修・保志 宏）

